

[参 考 資 料]

- 参考資料 I-1 学校法人東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]
- 参考資料 I-2 東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]
- 参考資料 I-3 山口東京理科大学の委員会活動状況 [平成 20 年度]
- 参考資料 I-4 諏訪東京理科大学の委員会活動状況 [平成 20 年度]
- 参考資料 II-1 セミナーハウス特別講義の実施状況の推移
- 参考資料 II-2 学部における入学年度別卒業状況の推移
- 参考資料 II-3 セミナーハウス大学院特別講義の実施状況の推移
- 参考資料 IV-1 研究機器センター設備利用状況の推移 (平成 15 年度～平成 19 年度)
- 参考資料 IV-2 大型研究設備購入状況の推移
- 参考資料 V-1 山口東京理科大学生涯学習センター事業実績 [平成 19 年度]
- 参考資料 V-2 山口東京理科大学生涯学習センター事業計画 [平成 20 年度]
- 参考資料 VI-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績 [平成 19 年度]
- 参考資料 VI-2 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム計画 [平成 20 年度]
- 参考資料 VII-1 諏訪東京理科大学の地域との交流状況 [平成 20 年度]
- 参考資料 IX-1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

参考資料 I - 1 学校法人東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 1)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務局
創立125周年記念事業募金委員会	80名	創立125周年記念事業委員会の下で、記念事業の遂行に必要な資金を募集することを目的とする。	1) 記念事業募金の基本計画に関する事項 2) 記念事業募金の推進に関する事項 3) 記念事業募金活動に関する事項 4) その他募金委員会が特に必要と認める事項	周年募金事務局
募金常任委員会	25名	創立125周年記念事業募金委員会の下で、募金事業に係る業務を掌理することを目的とする。		
募金推進委員	611名	募金常任委員会の下で、具体的な募金活動の推進及び実行に当たる。		
個人情報保護委員会	7名	法人等における個人情報の保護に関する重要事項を審議する。	1) 法人等における個人情報の保護に係る施策に関する事項 2) 法人等における個人情報の収集、利用、提供、開示、訂正等について、統括責任者から付議された事項 3) その他法人等における個人情報の保護に関する重要事項	総務課
事務関係人事委員会	8名	常勤の事務職員の参事補以下の人事に関する選考等を行う。	1) 採用に関すること 2) 配置換えに関すること 3) 昇任、昇格及び特別昇給に関すること	人事課
職員研修委員会	10名	事務系職員の研修に係る計画の立案及び検討並びに研修の円滑な運営を図るため。	1) 職員研修に係る計画の立案及び検討に関する事項 2) 職員研修の調査及び研究に関する事項 3) 研修会の運営に関する事項 4) その他職員研修に関し必要と認められる事項	人事課
セクシュアル・ハラスメント防止委員会	8名	セクシュアル・ハラスメントの防止に関する基本的施策を企画し、立案し、及び実施するとともに、その具体的事案に対応するための必要事項を検討し、及び実施するため。	1) セクシュアル・ハラスメントの防止に関し啓発すること 2) セクシュアル・ハラスメント苦情処理委員会の設置に関すること 3) 苦情処理委員会からの報告を受けて被行為者に対する救済措置を検討すること 4) 苦情処理委員会の処理原案を基に行行為者に対する懲戒処分に関する原案を検討すること 5) 被行為者及び相談者に対する助言に関すること 6) その他セクシュアル・ハラスメントに関する必要事項の検討及び実施に関すること	人事課
生涯学習センター運営委員会	14名	生涯学習センターの運営に関する事項を審議する。	1) センターの運営に関すること 2) センターが実施する各種講座等の企画及び実施に関すること 3) センターの予算及び決算に関すること 4) その他センターに関する重要事項	生涯学習課
財務委員会	5名	財政の健全化を図るとともに、安定した財政基盤を確立し、もって法人の維持発展に資することを目的とする。	1) 中長期財政計画に関すること 2) 予算及び決算に関すること 3) 財源の確保に関すること 4) 財務に関する諸規程の制定及び改廃に関すること 5) その他財政に関すること	経理課

参考資料 I - 1 学校法人東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 2)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務局
放射線安全委員会	20名	<p>本学における放射性同位元素（RI等）の安全管理の最高責任者である理事長を補佐するため、RI等の安全管理並びに使用に関して、調査・指導・助言等及び必要に応じて改善の勧告を行い、さらに、放射線障害の発生防止に関する事項について、理事長の諮問に応じ審議し、その結果を理事長に答申する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) RI等安全管理に関する意見具申 2) RI等使用施設の新設、変更、保全及び廃止についての予備審査 3) 学内の使用施設における安全確保の確認及び管理状況についての立入調査並びに必要に応じた改善の勧告 4) 異常及び事故等の原因の調査並びにその事後処置 5) 放射線障害の予防に関する規程の制定及び改廃に係る助言 6) 大学における各学部、附属施設等の放射線及びRIの使用等に係る安全に関する問題の立案及び実施に対する協力及び調整 7) その他放射線障害防止に関する必要事項の調査、指導及び助言 	管財課 (神楽坂)
防災管理委員会	23名	<p>本学における、火災・地震・その他の災害の予防及び防止並びに人命の安全を期し、管理権限者（理事長）に具申を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 防災計画及び緊急事態発生時の措置の立案及び変更に関する事項 2) 防災対象物、避難施設及び消防用設備等の維持管理及び改善に関する事項 3) 自衛消防組織の編成、任務及び装備に関する事項 4) 災害発生時における隣接防災対象物との相互支援及びその協定に関する事項 5) 消火、通報及び避難の訓練実施に関する事項 6) 防災教育に関する事項 7) この規程の改廃に関する事項 8) その他防災管理上必要と認められる重要事項 	管財課 (神楽坂)
入学者選抜検討委員会	22名	<p>本学の入学者選抜の改善及び充実を図るため理事長又は学長の諮問に応じ右記に掲げる事項を審議する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 入学者選抜に関する方針、選抜方法等の調査研究等に関する事項 2) 本学学則第21条第7号に規定する者に係る入学資格審査に関する事項 	学務課
保健管理センター運営委員会	11名	<p>学生ならびに教職員に対する健康の保持増進を図り、もって大学における教育研究の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的としておりこれを審議する為、運営委員会を置く。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 管理運営の基本方針に関する事項 2) 年間の事業計画に関する事項 3) 予算及び決算に関する事項 4) その他管理運営に関する重要事項 	保健管理センター事務課
衛生委員会	17名	<p>労働安全衛生法第18条の規定に基づき、職員の健康障害の防止および健康の保持増進に関する事項を審議する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関する事項 2) 労働災害の原因及び再発防止対策で衛生にかかわるものに関する事項 3) その他職員の健康障害の防止に関する重要事項 	保健管理センター事務課 野田事務部庶務課 久喜事務部
広報戦略委員会	14名	<p>法人及び大学の諸施策並びに教育研究活動及びその成果を社会に向けて発信するとともに、有為な人材を学生として大学へ迎え入れるための広報の在り方を戦略的に検討する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 法人及び大学の広報戦略に関する事項 2) 法人及び大学の広報体制及び広報媒体に関する事項 3) 委員会が設置した部会の改廃に関する事項 4) その他広報に関する重要事項 	広報課
科学技術交流センター運営委員会	10名	<p>科学技術交流センターの運営について審議する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) センターの活動及びその事業計画に関すること 2) センターの組織に係る管理運営に関すること 3) センターの予算及び決算に関すること 4) その他センターの目的達成に必要な活動に関すること 	産学官 連携課

参考資料 I - 1 学校法人東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 3)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務局
産学連携戦略委員会	9名	産学官連携の推進及び知的財産の創出等に係る重要事項を戦略的に審議する。	1)産学官連携戦略に関する事項 2)科学技術交流センターの事業計画、予算等に関する事項 3)産学官連携及び知的財産に係る主たる規程の制定、改廃等に関する事項 4)その他産学官連携及び知的財産に関する重要事項	産学官連携課
利益相反委員会	10名	利益相反マネジメントに関する事項を審議する。	1)利益相反に係る業務に関する事項 2)利益相反に係る基準等の制定、改廃等に関する事項 3)その他利益相反に関すること	産学官連携課
学内発ベンチャー企業審査委員会	8名	理事長からの諮問事項（学内発ベンチャー企業の許可の可否等）について審議する。	1)学内発ベンチャー企業の許可の可否に関する事項 2)その他学内発ベンチャー企業に関する事項	産学官連携課
(学)東京理科大学研究活動コンプライアンス委員会	10名	法人の設置する大学における研究活動の不正防止を図るために設置する。	不正事案の調査等の結果を受理したときは、当該報告を審議し、不正事実が行われたか否かの認定を行う。	庶務課 産学官連携課
情報戦略会議	9名	情報科学教育・研究の推進並びに情報通信技術の活用に関する長期戦略及び展望について策定し、東京理科大学の運営に著実に反映させ、その活動を通じ東京理科大学等における教育・研究の更なる発展に寄与すること。	1)情報科学教育・研究の推進並びに情報通信技術の活用に関する長期戦略及び展望	情報企画課

参考資料 I - 2 東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 1)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務局
二村基金事業運営委員会	9名	二村基金設立の趣旨に則り、基金による事業の適切な運営を図る。	1)事業計画の立案及び検討に関すること 2)事業運営に必要な規程等の制定改廃に関すること 3)事業の予算及び決算に関すること 4)その他重要事項に関すること	生涯学習課
排水処理委員会	12名	本学における排水の水質管理に関する事項を定め、排水による公害の発生を防止し、教職員、学生の健康ならびに生活環境の保全を図ることを目的とする。	1)本学の排水処理に関する具体的方策 2)その他排水処理に関する重要事項	管財課 (神楽坂) 管財課 (野田)
第三者評価受審委員会	10名	理事長及び学長の合同諮問委員会として、本委員会を置く。 本委員会は、平成 20 年度に (財) 大学基準協会の認証評価を受審するため、大学及び法人の自己点検・評価を実施、総括し、大学全体としての自己点検・評価報告書を取りまとめることを目的とする。	1)法人実施委員会及び大学実施委員会への助言及び監理に関する事項 2)自己点検及び評価項目の設定に関する事項 3)法人及び大学の各部局に対する自己点検・評価の報告の依頼及び提出された報告事項の確認に関する事項 4)大学基準協会に提出する自己点検・評価報告書の取りまとめに関する事項 5)大学基準協会資料の収集及び分析に関する事項 6)自己点検・評価のための調査研究に関する事項 7)その他自己点検・評価に必要な事項	企画調査課 及び庶務課
同和委員会	14名	同和問題に関する正しい理解と認識を深め、基本的人権の尊重に関する知識の向上を図る。	趣旨・目的達成のために必要な事項	庶務課
学長室会議	7名	本学の運営を円滑に行うため、全学的な立場から本学の教育及び研究に関する必要な事項について検討する。	1)部局長会議及び大学院協議会の議題に関する事項 2)部局長会議において決定した業務の具体に関する事項 3)本学の教育及び研究に係る重要事項 4)学校法人東京理科大学との間の連絡調整に関する事項 5)その他学長が特に必要と認める事項	庶務課
学長室会議教育小委員会	4名	学長室委員会の下に、必要に応じて小委員会を設け、右記の事項に関する審議を行う。	1)学長所掌の補職及び委員会委員人事に関する事項 2)定員枠外専任教授の人事に関する事項 3)その他教育に関する学長の諮問事項	庶務課
学長室会議研究小委員会	8名	学長室委員会の下に、必要に応じて小委員会を設け、右記の事項に関する審議を行う。	1)研究計画に関する重要事項 2)特定研究助成金及び特別設備の選定に関する事項 3)研究助成金等の選定に関する事項 4)その他研究に関する学長の諮問事項	庶務課
研究戦略委員会	10名	本学及び学校法人東京理科大学との合同で組織し、本学の学術研究の将来構想を立案し、本学の研究戦略を策定するために置く。	1)本学の学術研究の将来構想に関する事項 2)わが国における科学技術政策や大学への社会的・経済的要求を把握し、本学の学術研究における戦略を策定するための事項 3)重点研究領域の中期、長期目標を策定するための事項 4)外部資金獲得のための企画立案に関する事項 5)本学の研究組織及び研究者の人事計画に関する事項 6)産学官連携及び知的財産に係る事項 7)本学の学術研究成果の広報に係る事項 8)本学の学術研究の活性化に係る事項 9)本学の若手教員の研究奨励、支援及び育成に係る事項 10)その他委員会が必要と認めた事項	庶務課

参考資料 I - 2 東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 2)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務局
研究倫理委員会	若干人	本学における研究行動憲章のうち、研究上の不正行為の防止及び不正行為に対処するためために置く。	委員会は、不正行為の事案及び内容に応じて、以下に係る予備調査を実施し、調査委員会による本格的な調査の必要性の有無について判断する。 1) 申立て内容の論理的合理性 2) 事後の検証の可能性	庶務課
総合研究審議委員会	10名	本学の研究組織を常にダイナミックでかつ高度に活性化された組織とし、学術研究を格段に発展させる研究プロジェクトを選定するために置く。	1) 東京理科大学総合研究機構の各研究センターの設置及び改廃に関する事項 2) 機構の各研究部門の設置及び改廃に関する事項 3) 私立大学戦略的研究拠点形成支援事業の申請に関する事項 4) 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金、科学技術振興機構 (JST)、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 等が行う各種事業の競争的外部資金への申請に関する事項 5) 学内研究資金の申請に関する事項 6) 研究センター廃止後のスペースの使途に関する事項 7) その他委員会が必要と認めた事項	庶務課
総合研究評価委員会	10名	東京理科大学における研究活動とその成果に対して、客観的な評価を行うために置く。	委員会は、次に掲げる事項を評価対象とする。 1) 研究部門又は研究センターの当該研究プロジェクトの研究成果、研究実績及び研究の達成度 2) 本学が選定した学内外の競争的研究資金の採択研究の研究成果、研究実績及び研究の達成度 3) その他本学の研究活動を活性化させるための活動 委員会は、次に掲げる評価方法により評価を行う。 1) 研究部門長、研究センター長又は各種研究資金受領者が作成した研究の進捗状況、成果、自己評価等に関する報告書による評価 2) その他ヒアリングによる評価、研究現場の視察等による評価	庶務課
国際化政策委員会	7名 + 若干人	本学の国際化政策を審議する。	1) 本学の国際交流の方針に関する事項 2) 国際化推進センターの実施する国際化施策の点検および評価に関する事項 3) その他委員会が必要と認めた事項	国際交流課
入学試験実施委員会	14名	入学試験を円滑に実施するため。	1) 当該年度における入学試験実施に関する事項	学務課
教育開発センター	11名	ファカルティ・ディベロップメント活動の啓発及び支援並びに全学共通の教務に関する事項の連絡および調整を行い、全学的な教育施策を企画するとともに、教育活動の継続的な改善の推進および支援を行うことにより、本学の教育の充実及び高度化に資することを目的とする。	1) ファカルティ・ディベロップメント活動の啓発・支援 2) 全学共通の教務に関する事項の連絡及び調整について 3) 教育施策の企画立案に関すること 4) 教育課程の企画及び改善に関すること 5) その他本学の教育活動に関すること	学務課
教職課程委員会	48名	本学の教職課程に係る編成や運営について組織的な調査及び検討を行うとともに、その改善及び向上に努める。	1) 教職課程の編成及び運営上の問題に関する事項 2) 教育実習に関する事項 3) 介護等の体験に関する事項 4) その他教職課程に関する事項	教職課程支援室
大学図書館委員会	5名	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行うことにより、広く学術の発展に寄与するとともに、本学の教職員及び学生並びに本法人の関係者の教育研究に資することを目的とする。	1) 図書館の運営に関する事項 2) 図書館利用に係る諸規程の制定及び改廃に関する事項 3) 図書館の連絡及び調整に関する事項 4) その他図書館に関する事項	図書館事務課

参考資料 I - 2 東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 3)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務局
神楽坂図書館委員会	20名	図書館規程第7条に基づき、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行い、教育研究に資することを目的とし、右の事項を審議する。	1) 大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2) 神楽坂図書館に関する要望事項 3) 各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する事項 4) その他図書館の目的達成のために必要な事項	図書館課
野田図書館委員会	18名	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行い、教育研究に資することを目的とする。	1) 大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2) 野田図書館に関する要望事項 3) 各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する事項 4) その他図書館の目的達成のために必要な事項	野田事務部 図書館課
学生部委員会	22名	学生の厚生補導に関する事項を審議する。	1) 学生の厚生補導に関する重要事項及び各学部共通事項	学生課
公務員対策委員会	31名	公務員を志望する本学学生の進路に関する事項を審議検討し、公務員志望者に対して種々の施策を講ずることにより、公務員志望者の進路決定に寄与することを目的とする。	1) 公務員を志望する本学学生の進路に対する助言及び指導に関する事項 2) 公務員関係の進路支援のためのガイダンス、各種公務員試験対策講座、模擬試験並びに省庁業務説明会等の企画、立案及び実施に関する事項 3) 公務員試験の傾向分析に関する事項 4) 公務員試験に関する情報の収集に関する事項 5) その他公務員進路対策に関する事項	就職課
就職委員会	12名	全学的かつ長期的観点から、本学学生に対するキャリア形成教育及び進路指導に関する基本的方策を審議及び策定し、これらの業務に対する助言・支援とその点検・評価を行い、学生に対するキャリア形成教育及び進路指導の恒常的な改善を図ることを目的とする。	1) 学生のキャリア形成教育に関する事項 2) 学生の進路指導に関する事項 3) インターシップの実施に関する事項 4) 学生の卒業後のキャリアの調査に関する事項 5) その他本委員会の目的達成に必要な事項	就職課
産学連携担当委員会	20名	本学において産学官連携を推進すること並びに本学において知的財産の創出拡充及び社会還元を推進することを目的とする。	1) 各学科及び研究所における産学官連携の実施 2) 各学科等の教員からの産学官連携及び知的財産に係る相談及び意見の取りまとめに関すること 3) 各学科等における産学官連携及び知的財産に係る情報交換に関すること 4) 各学科等における産学官連携及び知的財産に関して必要なこと	産学官課
研究機器センター運営委員会	16名	研究機器センターの設備の全学的な共同利用を図り、その運営を円滑に行う。	1) 管理及び運営の基本方針に関する事項 2) 設備の整備拡充計画に関する事項 3) 設置の登録及び抹消並びに設備区分の指定及び改廃に関する事項 4) 予算及び決算に関する事項 5) 専任職員及び臨時職員の配置計画に関する事項 6) 広報誌の発行に関する事項 7) その他運営に関する重要事項	研究事務課
遺伝子組換え実験安全委員会	19名	実験の安全かつ適切な実施を確保するための学長の諮問機関。	1) 実験に関する規則等の制定改廃に関する事項 2) 実験計画の法令への適合性に関する事項 3) 実験に使用する実験室（区域）の法令への適合性に関する事項 4) 実験に係る教育訓練及び健康管理に関する事項 5) 事故発生の際必要な処置及び改善策に関する事項 6) その他実験の安全確保に関し必要な事項	研究事務課

参考資料 I - 2 東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 4)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務課
動物実験委員会	12名	動物実験指針の適正な運用を図るための学長の諮問機関。	1)法令及び指針の遵守に関する事項 2)委員会へ付託された諮問事項 3)本学で行われる哺乳類、鳥類及び爬虫類動物を用いるすべての動物実験の計画及び実施の適否に関する事項 4)飼養保管施設及び実験室の設置に関する事項 5)動物実験の実施状況の調査に関する事項 6)動物実験方法の教育及び助言に関する事項 7)その他指針の適正かつ円滑に運用するために必要な事項	研究事務課
ヒト材料研究及び遺伝子解析研究に係る倫理委員会	9名	実験計画の実施の適否について、科学的及び倫理的観点から審査を行う学長の諮問機関。	研究計画の実施に係る適否等に関する事項	研究事務課
情報科学教育・研究機構運営協議会	8名	情報科学教育・研究機構の設置目的(全学の学生に対する情報教育の高度高質化を図ると同時に先端的情報科学の研究を推進し、両者の有効な連携を図ることにより、本学の情報科学の教育及び研究の発展に貢献すること)の達成に必要な事項を審議する。	1)本学における情報教育の高度高質化及び先端的情報科学の研究推進に係る方針の企画及び立案に関すること 2)本学の教育研究に係る情報関係設備の整備計画に関すること 3)センターの設置及び改廃に関すること 4)センターの事業計画に関すること 5)センターの予算計画の立案に関すること 6)機構及びセンターの人事に関すること 7)センターの部門の設置及び改廃に関すること 8)機構、センター及び情報関係設備に関する諸規程の制定及び改廃に関すること 9)その他機構に係る重要事項に関すること	情報企画課
情報基盤整備委員会	9名	1)情報関係設備の整備に関する事項を審議し、運営協議会に提案する。 2)情報関係設備の運用に関する事項を審議する。	1)研究用電子計算機の導入に係る計画の立案に関すること 2)教育研究に係る情報ネットワークの整備に係る計画の立案に関すること 3)その他機構長が運営協議会に提案する情報関係設備の整備計画に関する事項のうち、機構長が特に必要と認めた事項に関すること 4)研究用電子計算機の運用及び利用調整に関すること 5)教育研究に係る情報ネットワークの利用及びセキュリティ管理に関すること	情報企画課
情報科学教育センター運営委員会	7名	センターの運営及び全学的情報教育の方針立案に関する審議を行う。	1)センターの運営に関すること 2)全学的情報教育の方針立案に関すること 3)情報教育の実施に係る設備の整備要望に関すること 4)その他センターの目的達成に必要な活動に関すること	情報企画課
東京理科大学情報倫理委員会	13名	東京理科大学における情報ネットワークの適正な利用を推進するため。	1)情報ネットワークの適正な利用に係る利用心得等の立案に関すること 2)利用者の遵守義務に反する情報ネットワークの不適正な利用が生じた場合における利用停止等の措置手順の立案に関すること 3)不適正利用が生じた場合における当該不適正利用に關与した利用者に対する利用停止措置に関すること 4)運用責任者に対する不適正利用及びこれに係る利用停止措置等の報告に関すること	情報企画課

参考資料 I - 2 東京理科大学の主な委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 5)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務局
セミナーハウス運営委員会	11名	セミナーハウスは、本学の教育研究を助成する支援施設として、教職員等と学生が交流を深めることにより学生の人間形成に資すること及び地域社会との交流に供することを目的とする。	1) セミナーハウスの管理運営に関すること 2) セミナーハウスに関する規程等の制定及び改廃に関すること 3) セミナーハウスの予算及び決算に関すること 4) セミナーハウス主催事業等の立案に関すること 5) その他セミナーハウスに係る重要事項に関すること	野田事務部庶務課 セミナーハウス事務室
総合研究機構運営委員会	28名	研究部および研究センター部の運営に関する事項を審議する。	1) 研究部門の設置、継続及び改廃に発議に関すること 2) 研究部門における研究グループの設置に関すること 3) 研究センター部等の人事に関すること 4) 研究センター部等の事業計画に関すること 5) 研究センター部等に関する研究スペース、設備の管理に関すること 6) 研究センター部等の予算及び決算に関すること 7) 研究センター部等に関する諸規程等の制定及び改廃の発議に関すること 6) その他研究センター部等の管理・運営に関すること	研究事務課
総合研究機構運営幹事会	9名	総合研究機構運営委員会を円滑に運営させることを目的とする。	1) 総合研究機構運営委員会の審議及び報告事項の議案の準備に関すること 2) 総合研究機構運営委員会より付託された事項の審議	研究事務課
研究センター運営委員会	63名	センターの運営について審議する。 (*各センター共通)	1) センターの事業計画に関する事項 2) その他センターに関する重要事項	研究事務課・ 産学官連携課
生命科学研究所運営委員会	9名	生命科学研究所長の諮問に応じて生命科学研究所に関する事項を審議する。	1) 運営の基本方針に関する事項 2) 年間の事業計画に関する事項 3) 研究所の予算に関する重要事項 4) 規程等の改廃に関する事項 5) 附属研究施設の設置及び改廃に関する事項 6) その他人事、運営等に関する重要事項	研究事務課
野田図書館委員会	18名	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行い、教育研究に資することを目的とする。	1) 大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2) 野田図書館に関する要望事項 3) 各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する事項 4) その他図書館の目的達成のために必要な事項	野田事務部 図書館課
長万部図書館委員会	4名	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行い、教育研究に資することを目的とする。	1) 大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2) 長万部図書館に関する要望事項 3) 各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する事項 4) その他図書館の目的達成のために必要な事項	長万部 事務部
長万部学寮運営委員会	7名	学生の生活(福利、健康、衛生等)および学寮の運営に関する重要事項を審議する。	1) 寮生及び関係教職員からの要望事項等で、学寮長が審議の必要があると認めた事項 2) 長万部学寮運営委員会規程及び長万部学寮運営規程の改廃に関する事項 3) 長万部学寮運営委員会規程に定める運用に関する事項 4) 寮生の福利、保健、衛生等に関する事項 5) その他学寮の運営に関する事項	長万部 事務部
久喜図書館委員会	4名	理科大の図書館としての方針及び意図の徹底を図るとともに、経営学部としての要望を検討して教育研究に最大限に寄与する。	1) 大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2) 久喜図書館に関する要望事項 3) 各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する事項 4) その他図書館の目的達成のために必要な事項	久喜事務部

参考資料 I - 3 山口東京理科大学の委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 1)

委員会名	構成員数	目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
入試対策委員会	12名	本学の入学者選抜にかかる募集・出題・実施（推薦を含む）について調査研究等を行い、本学の入学者選抜の改善・充実のための施策について企画立案し、実施方法を策定する。	1) 学生募集に関する事項 2) 入試実施に関する事項 3) 入試業務全般に関する事項	学 務 課
図書館委員会	4名	図書館の運営に関する重要事項を審議する。	1) 予算及び決算に関する事項 2) 購読図書、雑誌、及び視聴覚資料の選定に関する事項 3) 開館時間及び閉館中の図書館利用に関する事項 4) その他図書館全般の運営に関する事項	学 務 課
学生部委員会	4名	学生の厚生補導に関する事項について審議する。	1) 学生に係る諸行事に関する事 2) 学生の団体に関する事 3) 学生の課外活動に関する事 4) 学生相談に関する事 5) 学生の賞罰に関する事 6) 奨学生に関する事 7) その他学生の厚生補導全般に関する事	学 務 課
国際交流委員会	5名	本学における学術上の国際交流等教育職員の教育研究能力の向上に資する。	1) 在外研究員等の派遣及び旅費支給に関する事項 2) 海外の大学・研究機関等からの客員教授等の招へい及び経費配分に関する事項 3) 海外の大学・研究機関等との教職員及び学生の交換についての協定に関する事項 4) 客員教授等として招へいする者の生活上の便宜、福利厚生等に関する事項 5) 国際交流を進めるための海外の大学・研究機関その他の実情調査、資料収集及び広報活動に関する事項 6) 国際交流を進めるために必要な海外及び国内諸機関との連絡調整に関する事項 7) 外国人留学生委員会との連絡調整に関する事項 8) その他国際交流に関する重要事項	学 務 課
外国人留学生委員会	6名	外国人留学生に関する事項のうち、全学的立場から特に検討を要する事項について審議し、必要な措置を行う。	1) 厚生補導に関する事項 2) 修学指導に関する事項 3) 入学及び教育課程に関する事項 4) 学生の受入れ等に関する事項 5) 国際交流委員会及び学生部委員会との連絡調整に関する事項 6) その他外国人留学生に関する重要事項	学 務 課
機器センター運営委員会	4名	本学機器センター設備の全学的な共同利用を図り、その運営を円滑に行う。	1) 管理及び運営の基本方針に関する事項 2) 設備の整備拡充計画に関する事項 3) 設備の登録及び抹消並びに設備区分の指定及び改廃に関する事項 4) 予算及び決算に関する事項 5) 臨時職員の配置計画に関する事項 6) 広報誌の発行に関する事項 7) その他機器センターの運営に関する重要事項	庶 務 課

参考資料 I - 3 山口東京理科大学の委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 2)

委員会名	構成員数	目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
防災管理委員会	6名	本学における火災・地震・その他の災害の予防ならびに人命の安全を期し、管理権限者（理事長）に具申を行う。	1) 防災計画・緊急事態発生時の措置の立案及び変更に関する事項 2) 防災対象物・避難施設及び消防用設備等の維持管理並びに改善に関する事項 3) 自衛消防組織の編成、任務及び装備に関する事項 4) 災害発生時における隣接防災対象物との相互支援及びその協定に関する事項 5) 消火、通報及び避難の訓練実施に関する事項 6) 防災教育に関する事項 7) この規程の改廃に関する事項 8) その他防災管理上必要と認められる重要事項	庶務課
生涯学習センター運営委員会	7名	本学生涯学習センターの重要事項を審議する。	1) 地域の社会人等、特に企業人・教員を対象とした公開講座、講習会及び講演会の開催 2) 地域の企業等に対する技術指導及び共同研究等の推進 3) その他センターの目的達成に必要な活動	庶務課
排水処理委員会	5名	本学における排水の水質管理に関する事項を定め、排水による公害の発生を防止し、教職員及び学生の健康及び生活環境の保全を図る。	排水処理実施要項の策定等、排水処理に関する具体的方策に関する事項	庶務課
情報倫理委員会	3名	本学における情報ネットワークの適正な利用の推進をはかる。	1) 情報ネットワークの利用心得の立案。 2) 情報ネットワークの不適正な利用に係る利用停止措置等の対応	庶務課
衛生委員会	4名	本学における職員の健康増進、労働災害の防止。	1) 職員の健康障害の防止に係る事項 2) 職員の健康の保持増進に係る事項 3) 職員の労働災害の防止に係る事項	庶務課

参考資料 I - 4 諏訪東京理科大学の委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 1)

委員会名	構成員数	目的	主な審議事項	担当事務局
防災管理委員会	7名	本学における火災、地震その他の災害の予防及び防止並びに人命の安全を期し、管理権限者に具申を行う。	1)防災計画及び緊急事態発生時の措置の立案及び変更に関する事項 2)防災対象物、避難施設及び消防用設備等の維持管理及び改善に関する事項 3)自衛消防組織の編成、任務及び装備に関する事項 4)災害発生時における隣接防災対象物との相互支援及びその協定に関する事項 5)消火、通報及び避難の訓練実施に関する事項 6)防災教育に関する事項 7)本委員会規程の改廃に関する事項 8)その他防災管理上必要と認められる重要事項	庶務課
情報委員会	7名	学長の諮問機関として、情報に関する重要事項について審議する。	1)情報教育及び教材の電子化に関する事項 2)情報発信に関する事項 3)情報倫理に関する事項 4)その他情報に関する重要事項	庶務課
情報倫理委員会	6名	本学における情報ネットワークに係る適正な利用の推進を図るための必要な事項を審議する。	1)情報ネットワークの適正な利用に係る利用心得等の立案に関する事項 2)利用者の遵守義務に反する情報ネットワークの不正な利用が生じた場合における利用停止等の措置手順の立案に関する事項 3)不適正利用が生じた場合における当該不適正利用に関与した利用者に対する利用停止措置に関する事項 4)運用責任者に対する不適正利用及びこれに係る利用停止措置等の報告に関する事項	庶務課
研究交流委員会	8名	学長の諮問機関として、学外との研究交流に関する事項について審議する。	1)産学官連携事業に関する事項 2)共同研究施設の利用に関する事項 3)その他研究交流に関する重要事項	庶務課
生涯学習センター運営委員会	6名	本学の研究成果及び教育機能を活用し、広く学内外に生涯学習機会を提供し、キャリア開発及び多様な学習意欲に応える活動を通じ、地域社会に貢献する。	1)地域の社会人等、特に企業人を対象にした公開講座、講習会及び講演会の開催に関する事項 2)小学生、中学生、高校生等に対する科学啓蒙活動推進のための事業に関する事項 3)本学の学生を対象にした資格取得講座等の開催に関する事項 4)その他生涯学習に関する重要事項	庶務課
入試広報委員会	13名	本学の入学者選抜に関する基本方針に基づき必要事項を審議する。	1)入試広報活動の企画及び実施に関する事項 2)本学の公式ホームページの作成及び維持管理に関する事項 3)本学案内パンフレットの作成に関する事項 4)その他入試広報に関する重要事項	庶務課
自己点検・評価委員会	11名	本学の教育研究活動の状況についての自己点検・評価を行う。	1)自己点検・評価の基本方針、実施計画、項目等の策定に関する事項 2)自己点検・評価の結果に関する事項 3)自己点検・評価の結果に対する改善事項等に関する事項 4)自己点検・評価の結果及び改善事項等の公表に関する事項 5)その他自己点検・評価に関する必要な事項	庶務課
地域貢献評価委員会	7名	本学の設置理念の1つとして掲げている地域社会への貢献について外部機関による評価を行う。	1)本学の設置理念及び教育研究上の目的を達するために必要な事項 2)本学の運営に関する事項 3)その他大学が特に必要と認める事項	庶務課
図書館委員会	5名	図書館の運営に関する重要事項を審議する。	本学の設置する図書館の運営に関する重要事項	学務課

参考資料 I - 4 諏訪東京理科大学の委員会活動状況 [平成 20 年度]

(その 2)

委員会名	構成員数	目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
学 生 部 委 員 会	6 名	学生の厚生補導に関する事項について審議する。	学生の厚生補導に関する事項	学 務 課
国際交流委員会	6 名	学長の諮問機関として、本学における学術上の国際交流等教育職員の教育研究能力の向上に関する事項について審議する。	1)在外研究員等の派遣及び旅費支給に関する事項 2)海外の大学、研究機関等からの客員教授等の招聘及び経費配分に関する事項 3)海外の大学、研究機関等との教職員及び学生の交換についての協定に関する事項 4)客員教授等として招聘する者の生活上の便宜、福利厚生等に関する事項 5)国際交流を進めるための海外の大学、研究機関との他の実情調査、資料収集及び広報活動に関する事項 6)国際交流を進めるために必要な海外及び国内の諸機関との連絡調整に関する事項 7)諏訪東京理科大学外国人留学生委員会との連絡調整に関する事項 8)その他国際交流に関する事項	学 務 課
外国人留学生会 委 員 会	7 名	学長の諮問機関として、外国人留学生に関する事項のうち、全学的立場から特に検討を要する事項について審議し、必要な措置を行う。	1)厚生補導に関する事項 2)修学指導に関する事項 3)入学及び教育課程に関する事項 4)学生の受入れに関する事項 5)諏訪東京理科大学国際交流委員会及び諏訪東京理科大学学生部委員会との連絡調整に関する事項 6)その他外国人留学生に関する重要事項	学 務 課
入学者選抜検討 委 員 会	8 名	本学の入学者選抜の改善及び充実を図るため、理事長又は学長の諮問に応じ、必要事項を審議する。	1)入学者選抜に関する基本戦略、方針、選抜方法等の調査研究に関する事項 2)本学の学則に規定する者に係る入学資格審査に関する事項	学 務 課
ものづくり工房 運 営 委 員 会	10 名	工房は、地域の匠のアドバイスを受けながら、学生が自ら考え、創造する場所として、本学の教育・研究に資するとともに、地域企業へ貢献することを目的とする。	1)教育及び研究 2)機械器具等の試作、製造及び修理 3)学外からの研究、調査等の受託及び共同研究 4)研究会、講演会、研修会、公開講座等の開催 5)その他工房の目的達成に必要な業務	庶 務 課
環 境 委 員 会	11 名	本学の環境方針の実施を目的とする。	1)本学における環境汚染の予防、省資源、省エネルギー、廃棄物の発生抑制及び周辺環境への配慮等、環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの実施に関すること 2)本学の環境教育の推進に関すること 3)本学内ならびに周辺地域の環境美化に関する本学の活動に関すること	庶 務 課
放射線管理運営 委 員 会	7 名	本学で行われる放射線を用いる教育・研究における放射線障害の予防を目的とする	1)本学の放射線、エックス線発生装置使用における事故の発生、業務従事者の健康管理上の問題点の検討、処理及び対策に関すること。 2)放射性同位元素、エックス線など（以下「RI等」という。）の使用に係る種類、数量・装置等の変更に関すること 3)RI等の購入、使用、廃棄に関すること。 4)RI等の使用に係る改善、停止命令に関すること。 5)RI等使用者の教育、訓練、健康管理に関すること。 6)放射線施設における設備等の設置、改廃、保全に関すること。 7)その他放射線障害の防止に必要な事項に関すること。	庶 務 課

参考資料Ⅱ-1 セミナーハウス特別講義の実施状況の推移

回数	出版	題 目	期 間	受講者	講 師
1		生命科学	昭和51年7月20日～22日	133(20)	10(0)
2	○	科学と私	52年7月19日～21日	173(29)	7(3)
3		表面	53年7月16日～18日	77(5)	8(0)
4	○	宇宙からの情報とその解説	54年2月5日～6日	128(13)	6(4)
5		現代の不安と青年期	54年7月16日～18日	34(2)	10(3)
6		太陽エネルギーとその応用	55年2月4日～5日	53(2)	6(3)
7	○	科学と私(2)	55年7月16日～18日	43(15)	8(5)
8		地底からの情報とその解説	56年2月4日～5日	101(10)	5(5)
9		日本文化のルーツと特徴を探る	56年7月9日～11日	170(13)	8(6)
10		生命からの情報とその解説	57年2月4日～5日	211(47)	7(3)
11	○	世界の中の日本	57年7月9日～11日	69(7)	8(6)
12		極限の世界に挑戦する	58年2月4日～5日	113(10)	6(3)
13	○	コミュニケーション	58年7月9日～11日	137(20)	8(6)
14		生命の神秘を探る	59年2月4日～5日	164(49)	5(4)
15	○	金属と人間	59年7月8日～10日	116(9)	7(7)
16	○	日本人のルーツを探る	60年2月3日～4日	162(50)	5(4)
17		Man&Woman	60年7月16日～18日	99(27)	6(4)
18		ことば-その伝統と未来-	61年2月4日～5日	152(23)	5(4)
19		先端技術を支える新素材-その現状と展望-	61年7月16日～18日	91(9)	7(4)
20		宗教と民族と世界観	62年2月4日～5日	126(34)	5(4)
21	○	人間と自然環境	62年7月16日～18日	139(31)	7(4)
22	○	現代の宇宙観	63年7月16日～18日	137(37)	8(7)
23		モラル-その源流から考察-	63年8月29日～31日	119(32)	8(7)
24	○	エネルギー利用の現状と展望	平成元年7月16日～18日	157(17)	8(7)
25		日本の歩みと世界	元年8月29日～31日	136(30)	8(7)
26	○	地球環境の現状をめぐって	2年7月16日～18日	153(16)	8(8)
27		世界の文学の面白さ	2年8月29日～31日	116(25)	8(8)
28	○	考古学と古代日本文化-日本文化の基層をさぐる-	3年7月16日～18日	138(17)	8(8)
29		深層心理の世界	3年8月29日～31日	130(50)	8(7)
30	○	古生物の世界	4年7月16日～18日	132(32)	8(8)
31		激動の現代	4年8月29日～31日	98(14)	8(7)
32	○	科学技術 21 世紀のビジョン	5年7月16日～18日	144(47)	8(8)
33		科学の歴史	5年8月29日～31日	85(15)	8(8)
34	○	海洋科学の現状と展望	6年7月16日～18日	159(47)	8(8)
35		現代日本の教育	6年8月29日～31日	125(29)	8(6)
36	○	生命と医科学	7年8月1日～3日	161(50)	8(7)
37		国際情勢はいま	7年9月15日～17日	137(31)	8(7)
38	○	食の文化	8年8月1日～3日	175(64)	8(8)
39		日本経済のこれから	8年9月15日～17日	137(29)	8(8)
40	○	住の文化と環境	9年8月1日～3日	181(59)	8(6)
41	○	心の糧-精神文化-	9年9月15日～17日	149(57)	8(7)
42	○	天気をよむ-身近な気象学-	10年8月1日～3日	186(58)	8(6)
43		アジアの新生	10年9月15日～17日	139(37)	8(7)
44	○	水の惑星に住む-水と人との関わり-	11年8月1日～3日	185(47)	8(7)
45	○	21世紀の金融を考える	11年9月15日～17日	167(33)	8(8)
46	○	先端バイオサイエンス-環境を中心に-	12年8月1日～3日	181(74)	8(7)
47		日本と近隣諸国の比較文化-経済	12年9月17日～19日	162(66)	8(8)
48	○	地震学、耐震工学の現状と課題	13年8月1日～3日	187(56)	8(6)
49		世界の文学を語る	13年9月15日～17日	155(62)	8(8)
50		心理学のいまを語る	14年8月1日～3日	186(47)	8(6)
51	○	ゲノム科学とバイオテクノロジー	14年9月15日～17日	179(75)	8(5)
52	○	環境問題-生活から地球まで-	15年9月13日～15日	337(117)	9(9)
53		国際理解への道-異文化交流を通じて-	16年8月1日～3日	266(110)	9(8)
54	*	火災安全-建築火災安全工学研究の推進(COE)-	16年9月15日～17日	211(35)	9(8)
55		21世紀の教育を考える-社会貢献の視点から-	17年8月1日～3日	277(54)	9(9)
56	*	ストレスと病氣-酸化ストレスの疾患への関与とその防衛を探る-	17年9月10日～12日	329(125)	9(8)
57		文学作品を通して自立を考える	18年8月3日～5日	214(78)	9(6)
58		ナノテクノロジーの現状と将来	18年9月13日～15日	294(74)	10(4)
59		技術者のための MOT 入門	19年8月8日～10日	250(45)	10(4)
60		アートの諸相	19年9月12日～14日	141(48)	9(8)

- (注) 1. 「受講者数」の()内は女子学生数を、「講師数」の()内は学外講師数を、それぞれ内数で示す。
 2. 出版欄の○印は、特別教室出版シリーズとして刊行されたものを示し、*印は出版シリーズから科学フォーラムに移行して掲載。
 3. 平成14年度に諏訪東京理科大学、平成16年度に山口東京理科大学を受講対象とした。また、平成15年度に公開講座として一般人を受入れた。なお、この表の「受講者数」は山口東京理科大学ならび諏訪東京理科大学の学生と一般人を含めていない。
 4. 本学の受講定員数は平成13年度まで200名、平成14年度は215名、平成15～18年度400名とした。また、山口東京理科大学ならび諏訪東京理科大学の受講定員は各30名としたが19年度は受講定員数300名、20年度は400名と会場により定員数が異なり、よって山口・諏訪の受入定員数は10～20名となった。
 5. 成16年3月まで、「セミナーハウス」は「特別教室」の名称を用いており、「セミナーハウス特別講義」の旧称は「特別教室セミナー」である。

参考資料Ⅱ-2 学部における入学年度別卒業状況の推移

[昼間学部]

(その1)

区分		入学年度										
		平成7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
理学部第一部	入学者数	740	775	866	799	900	747	782	797	792	742	
	卒業生数	645	675	761	695	792	652	669	688	685	562	
	卒業率	87.2	87.1	87.9	87.0	88.0	87.3	[85.5]	[86.3]	[86.5]	[70.9]	
	最短卒業率	72.2	71.6	72.4	73.1	72.0	76.3	68.8	71.1	74.6	70.9	
	平均在籍年数	4.22	4.24	4.25	4.24	4.24	4.18	-	-	-	-	
薬学部	入学者数	185	199	186	241	194	190	206	191	191	192	
	卒業生数	167	193	166	218	172	178	178	174	175	169	
	卒業率	90.3	97.0	89.2	90.5	88.7	93.7	[86.4]	[91.1]	[91.6]	[88.0]	
	最短卒業率	86.5	86.9	78.0	80.9	81.4	86.3	81.1	85.3	86.9	88.0	
	平均在籍年数	4.06	4.16	4.17	4.17	4.09	4.11	-	-	-	-	
工学部第一部	入学者数	559	543	499	537	555	583	537	579	486	490	
	卒業生数	522	508	453	493	514	540	485	537	408	391	
	卒業率	93.4	93.6	90.8	91.8	92.6	92.6	[90.3]	[92.7]	[84.0]	[79.8]	
	最短卒業率	80.3	74.2	74.7	76.9	75.0	77.9	78.0	84.6	75.9	79.8	
	平均在籍年数	4.21	4.25	4.21	4.23	4.23	4.22	-	-	-	-	

- (注) 1. 「入学者数」、「卒業生数」の()内は、女子の内数を示す。
 2. 「卒業率」=卒業生数÷入学者数。
 3. 原級者が在籍している年度については、暫定的な卒業率を[]内に示した。
 4. 「最短卒業率」=最短卒業生数÷入学者数。
 5. 「入学者数」は、当該年度の新入生数とする。
 6. 「入学者数」、「卒業生数」は、学校基本調査票より集計(5月1日現在)。

参考資料Ⅱ-2 学部における入学年度別卒業状況の推移

[昼間学部]

(その2)

入学年度		平成7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
区分											
理工学部	入学者数	1,391	1,396	1,345	1,355	1,412	1,536	1,294	1,323	1,319	1,237
	卒業生数	1,287	1,262	1,224	1,245	1,301	1,420	1,182	1,190	1,187	979
	卒業率	92.5	90.4	91.0	91.9	92.1	92.4	[91.3]	[89.9]	[90.0]	[79.1]
	最短卒業率	73.1	74.4	76.7	78.7	76.8	80.5	79.4	79.9	79.2	79.1
	平均在籍年数	4.28	4.23	4.19	4.18	4.23	4.16	-	-	-	-
基礎工学部	入学者数	312	273	319	265	292	292	289	280	291	297
	卒業生数	296	254	296	252	277	279	269	262	267	254
	卒業率	94.9	93.0	92.8	95.1	94.9	95.5	[93.1]	[93.6]	[91.8]	[85.5]
	最短卒業率	76.3	72.5	77.4	71.3	71.9	76.7	79.9	79.3	81.8	85.5
	平均在籍年数	4.25	4.28	4.2	4.29	4.35	4.26	-	-	-	-
経営学部	入学者数	293	247	241	233	233	289	274	252	213	264
	卒業生数	258	216	213	216	211	253	251	231	188	205
	卒業率	88.1	87.4	88.4	92.7	90.6	87.5	[91.6]	[91.7]	[88.3]	[77.7]
	最短卒業率	76.5	82.2	77.6	82.8	81.1	74.7	84.3	79.8	83.6	77.7
	平均在籍年数	4.17	4.06	4.16	4.13	4.51	4.18	-	-	-	-
昼間学部合計	入学者数	3,480	3,433	3,456	3,430	3,586	3,637	3,382	3,422	3,292	3,222
	卒業生数	3,166	3,082	3,113	3,119	3,267	3,322	3,038	3,802	2,910	2,524
	卒業率	91.0	89.8	90.1	90.9	91.1	91.3	[89.9]	[90.7]	[88.4]	[78.3]
	最短卒業率	75.3	74.9	75.5	77.0	75.5	78.8	77.3	78.9	78.6	78.3
	平均在籍年数	4.23	4.22	4.21	4.21	4.23	4.18	-	-	-	-
全国平均	卒業率	91.5	91.1	89.7	89.6	88.1	88.2	[87.3]	[86.0]	[79.7]	
	最短卒業率	80.9	80.1	79.0	79.0	78.7	78.2	78.0	78.7	79.7	

(※平成16年度入学者の全国平均欄は、平成20年度学校基本調査報告書が発行された後に数値を記載。)

- (注) 1. 「入学者数」、「卒業生数」の()内は、女子の内数を示す。
 2. 「卒業率」=卒業生数÷入学者数。
 3. 原級者が在籍している年度については、暫定的な卒業率を[]内に示した。
 4. 「最短卒業率」=最短卒業生数÷入学者数。
 5. 「入学者数」は、当該年度の新入生数とする。
 6. 「入学者数」、「卒業生数」は、学校基本調査票より集計(5月1日現在)。

参考資料Ⅱ－２ 学部における入学年度別卒業状況の推移

[夜間学部]

(その3)

区分		入学年度									
		平成7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
理学部 第一部	入学者数	748	730	731	696	664	674	643	595	589	540
	卒業生数	496	524	494	452	457	403	410	392	347	236
	卒業率	66.3	71.8	67.6	64.9	68.8	59.8	[63.8]	[65.9]	[58.9]	[43.7]
	最短卒業率	43.9	48.8	47.5	44.8	45.0	38.7	44.8	50.4	48.7	43.7
	平均在籍年数	4.45	4.43	4.45	4.44	4.51	4.51	-	-	-	-
工学部 第二部	入学者数	250	254	290	274	263	282	261	243	250	251
	卒業生数	178	179	196	188	183	182	155	167	146	120
	卒業率	71.2	70.5	67.6	68.6	69.6	64.5	[59.4]	[68.7]	[58.4]	[47.8]
	最短卒業率	47.6	51.2	45.2	49.6	46.0	45.0	36.4	44.9	45.2	47.8
	平均在籍年数	4.52	4.51	4.51	4.45	4.50	4.52	-	-	-	-
夜間学部 合計	入学者数	998	984	1,021	970	927	956	904	838	839	791
	卒業生数	674	703	690	640	640	585	565	559	493	356
	卒業率	67.5	71.4	67.6	66.0	69.0	61.2	[62.5]	[66.7]	[58.8]	[45.0]
	最短卒業率	44.8	49.4	46.8	46.2	45.3	40.6	42.4	48.8	47.7	45.0
	平均在籍年数	4.48	4.43	4.47	4.45	4.50	4.51	-	-	-	-

- (注) 1. 「入学者数」、「卒業生数」の()内は、女子の内数を示す。
 2. 「卒業率」＝卒業生数÷入学者数。
 3. 原級者が在籍している年度については、暫定的な卒業率を[]内に示した。
 4. 「最短卒業率」＝最短卒業生数÷入学者数。
 5. 「入学者数」は、当該年度の新入生数とする。
 6. 「入学者数」、「卒業生数」は、学校基本調査票より集計(5月1日現在)。

参考資料Ⅱ-3 セミナーハウス大学院特別講義の実施状況の推移

回数	題 目	期 間	研究科等	出席者数
1	アロステリック効果	昭和49年 8月29日～31日	薬 学	31
2	膜	50年 8月27日～30日	薬 学	52
3	認識	51年 8月19日～22日	理 学	44
4	細胞表層の構造と機能	52年 8月 4日～ 6日	理 工 学	42
5	分子集合の生体制御	53年 8月21日～23日	薬 学	39
6	太陽エネルギーの変換	54年 8月22日～24日	薬 学	31
7	情報伝達	55年 8月21日～23日	薬 学	39
8	Modification -その方法と応用-	56年 8月24日～26日	理 学	57
9	酵素	57年 8月23日～25日	薬 学	37
10	生命科学	58年 9月 3日～ 4日	薬 学	41
11	LifeScience	59年 7月17日～18日	薬 学	41
12	材料科学研究のポイント	61年 9月 6日	理 工 学	91
13	先端科学技術におけるスーパーコンピュータの応用	62年 7月20日～21日	工 学	100
14	火災の科学	63年 7月 9日	理 工 学	70
15	液晶の科学	平成元年 7月19日～20日	綜 研	103
16	情報、認識	2年 9月 1日	薬 学	91
17	地球環境とエネルギー	3年 9月 7日	理 工 学	136
18	生体と情報処理	4年 9月12日	基 礎 工	178
19	太陽エネルギーの利用	5年 9月11日	工 学	157
20	界面を探る -無生物から生物まで-	6年 7月13日	綜 研	118
21	高温超伝導研究の現状	7年 7月17日～18日	理 学	182
22	夢とロマンの科学	8年 7月 6日	薬 学	136
23	21世紀を目指したコンピュータとその応用	8年 6月21日	理 工 学	209
24	躍進する有機機能材料の研究開発	10年 6月20日	基 礎 工	119
25	免疫系の破綻と制御	11年 9月27日	生命科学	136
26	コミュニケーション改革	12年10月14日	工 学	155
27	物質科学の最先端	13年10月 6日	綜 研	161
28	数学の現場への招待	14年10月12日	理 学	99
29	これからの生命科学-生物、物理、化学の垣根を越えて-	15年12月 6日	薬 学	105
30	21世紀の火災科学-先端的建築火災安全工学研究の推進-	16年10月16日	理 工 学	99
31	未来を拓く再生医療-集学的テクノロジーの統合による再生医療に向けて-	17年10月15日	生命科学	102
32	癌の生物学と抗体医薬-細胞癌化の分子メカニズムと抗体医薬の開発と現状と将来を考える-	18年10月 7日	基 礎 工	196
33	エンジニアに求められるもの-あなたは大丈夫ですか-	19年 9月29日	工 学	121

(注)平成16年4月より、特別教室の名称をセミナーハウスに改称したことに伴い「特別教室大学院セミナー」は「セミナーハウス大学院特別講義」に改称した。

参考資料Ⅳ-1 研究機器センター設備利用状況の推移 (平成 15 年度～平成 19 年度)

(その 1)

第 種 設 備	設 備 名	設置場所 年度	回数 (注) *...日数					時間 (注) *...日数					18 年度 *...分	19 年度	
			15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度			
第 二 種 設 備	二重取束 GC 質量分析計	野 田	855	448	778	471	233	—	1,089	836	1,434	0	199	—	—
	超伝導 (固体) 核磁気共鳴装置	神楽坂	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	超伝導 (固体) 核磁気共鳴装置	野 田	3	782	—	199	—	—	2,941	2,784	—	—	—	—	
	LC-質量分析計	野 田	5	1,260	1,189	1,087	1,140	—	—	—	—	—	—	—	
	熱同等方圧プレス装置	野 田	60	201	181	114	115	790	572	513	467	284	—	—	
	表面複合解析装置	神楽坂	61	59	67	48	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高出力・波長可変レーザーシステム	野 田	63	210	213	220	224	1,330	1,263	1,545	1,720	1,572	—	—	
	半導体光物性測定装置	神楽坂	63	0	登録抹消	—	—	—	0	登録抹消	—	—	—	—	
	透過電子顕微鏡	野 田	1	99	80	23	25	32	571	384	76	98	79	—	
	光電子分光装置	野 田	1	0	0	0	—	—	—	0	0	0	登録抹消	—	
第 二 種 設 備	高精度 X 線回折装置	神楽坂	1	241	281	186	182	110	1,660	1,732	785	1,056	566	—	
	全自動蛍光 X 線分析装置	神楽坂	2	7	7	10	—	—	* 7	* 7	20,000	登録抹消	—		
	走査型トンネル・原子間力顕微鏡	神楽坂	3	—	—	—	—	—	1,260	651	225	256	412	—	
	微小部軽元素分析用電子顕微鏡	神楽坂	4	678	383	332	282	273	—	* 36	* 44	* 55	登録抹消	—	
	イメーシング X 線光電子分光装置	野 田	4	36	44	55	登録抹消	—	—	—	—	—	—		
	バイオ・イメージング アナライザー	野 田	4	2,751	2,589	1,069	3,149	3,313	—	905	967	976	登録抹消	—	
	高温真空二軸疲労試験装置	神楽坂	2	49	54	53	登録抹消	—	—	0	登録抹消	—	—	—	
	加熱装置付走査電子顕微鏡	神楽坂	2	0	登録抹消	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	分子集合体構造及びダイナミクス観測装置	神楽坂	5	498	433	0	2	0	0	0	0	5	0	—	
	非接触表面三次元形決定及び観察システム	神楽坂	5	66	71	66	94	64	166	162	183	239	162	—	
生体機能画像解析装置	野 田	5	54	15	0	0	0	113	32	32	0	0	—		
原子レベル評価型電子顕微鏡	神楽坂	6	592	620	467	349	334	3,998	3,988	2,548	1,899	1,616	—		
スーパースロー・微小領域元素分析装置	野 田	6	—	—	—	—	—	—	282	444	245	248	324		
バイオセンサーシステム BIACore	野 田	6	* 154	* 21	* 4	* 40	* 0	* 154	* 21	* 4	* 40	* 0	* 186		
ナノメーター領域構造解析装置	野 田	7	* 250	* 197	* 265	* 142	* 186	* 250	* 197	* 265	* 142	* 186	—		
自動細胞解析分離装置	野 田	7	624	1,158	1,264	1,509	986	365	444	638.73	752	536	—		
遠赤外線時間分解ハルスレーサー設備	神楽坂	7	3	4	7	6	6	15	20	35	32	22	—		
低真空走査型電子顕微鏡	野 田	7	44	28	24	0	36	388	132	86	0	158	—		
化学発光蛍光 RI 解析システム	野 田	8	172	235	325	93	152	1,948	2,475	3,726	1,700	4,361	—		
エネルギー分散形蛍光 X 線分析装置	神楽坂	8	* 61	* 58	* 81	* 71	* 43	* 61	* 58	* 81	* 71	* 43	—		
超高圧高温物質合成・測定装置	野 田	8	233	131	92	192	182	2,563	1,441	11	2,112	2,002	—		
GC/IC/質量分析計	野 田	9	399	568	1,574	1,237	825	266	379	1,049	825	550	—		

参考資料IV-1 研究機器センター設備利用状況の推移 (平成 15 年度～平成 19 年度)

(その 3)

設備名	設置場所	設置年度	回数 (注) *…日数					時間 (注) *…日数					*…分	
			15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度		
DPX300 核磁気共鳴装置	神楽坂	7											2,724	2,724
誘導結合プラズマ発光分光分析装置	神楽坂	9				59	90						1,602	1,392
粉末 X 線回折装置	神楽坂	15				179	270							
偏光光学系高エネルギー蛍光 X 線分析装置	神楽坂	18												
微小部高速応力解析装置	神楽坂	18												
ナノ界面構造解析システム	野田	18					* 38							1,497
微弱分子間力複合体高感度検出構造解析システム	野田	18				89								* 38
電子顕微鏡用試料前処理システム	野田	18				12								60
超高感度汎生体画像システム	野田	18				1,132								379
3次元可視化を実現する高感度カメラシステム	野田	18				40								* 132
レーザーラマン分光光度計	野田	8					14							61
液体窒素貯蔵タンク	神楽坂	50	4,538	4,452	4,178	1,522	1,298	70,795kg	78,229kg	59,685kg	25,418kg	23,532kg		
液体窒素 (CE) 設備	野田	53					2,573	31,839kg	34,981kg	35,259kg	40,018kg			
神楽坂地区船河原校舎液体窒素供給設備	神楽坂	17											29,328kg	34,541kg

※1 以下の設備は、平成 19 年度末に研究機器センターより登録抹消となった。

〈第一種設備〉

二重収束 GC 質量分析計

超伝導 (固体) 核磁気共鳴装置

〈第二種設備〉

低真空走査型電子顕微鏡

フェムト秒再生増幅ハルスレーザーシステム

フーリエ変換赤外吸収分光装置

アノログ集積回路チップ解析設備

※2 以下の設備は、平成 20 年 5 月 28 日開催の研究機器センター運営委員会において新規登録が承認された。

〈第二種設備〉

円二色性分散計

マルチスベクトル測定システム

元素分析装置

高周波クロマトグラフィー質量分析計

ガスクロマトグラフ質量分析計

固体高分解能核磁気共鳴装置

高分解能核磁気共鳴装置

単結晶 X 線構造解析システム

全自動粉末 X 線回折装置

希釈冷凍機システム

フーリエ変換高分解能精密質量分析計

高剛性型変位制御載荷装置

ゲノム多型・遺伝子発現解析システム

参考資料Ⅳ-2 大型研究設備購入状況の推移

(その1)

区分 年度	設 備 名	金 額 (千円)	設置場所
平成 15	自然光形グロスキャビネット**	20,160	野 田
	共焦点レーザースキャン顕微鏡**	65,488	野 田
	マルチディメンションワークステーション**	25,956	野 田
	Sequence Detection System**	7,371	野 田
	植物遺伝子発現解析システム**	6,142	野 田
	PAM クロロフィル蛍光測定システム**	6,037	野 田
	三次元モールド用電子ビーム描画装置***	36,697	野 田
	表面改質・処理用レーザー****	12,999	野 田
	環境制御型構造観察装置	84,950	野 田
	万能材料試験機	47,848	野 田
高密度 GRID サーバ環境	18,115	野 田	
(11件) 合 計		331,763	
16	BD FACSAria *	50,400	野 田
	画像解析装置*	39,375	野 田
	CCD 単結晶自動 X 線構造解析装置*	38,640	野 田
	X 線回折-示差走査熱量同時測定装置*	35,658	野 田
	分析/分取精製 LCMS システム*	31,101	野 田
	レーザーキャニングサイトメーカー*	27,615	野 田
	細胞機能動態解析システム*	24,391	野 田
	液体クロマトグラフシステム*	19,320	野 田
	レーザー回折式粒度分布測定装置*	15,120	野 田
	超遠心機*	12,894	野 田
	4チャンネル水晶発振子バイオセンサー*	9,450	野 田
	ミニスプレードライヤーシステム*	9,450	野 田
	タイムラプス画像解析システム*	7,948	野 田
	超臨界二酸化炭素反応装置*	7,854	野 田
	レーザー光散乱方式粒度分布測定装置*	7,770	野 田
	熱分析装置*	7,560	野 田
	分光光度計システム*	6,804	野 田
	全自動元素分析装置*	6,331	野 田
	超低温細胞保存システム*	5,817	野 田
	顕微鏡画像解析取得システム*	5,292	野 田
高分解能透過型電子顕微鏡	99,750	神楽坂	
レーザーフラッシュ法熱物性値測定装置	18,900	神楽坂	
(22件) 合 計		487,440	

参考資料Ⅳ-2 大型研究設備購入状況の推移

(その2)

年度	区分	設備名	金額 (千円)	設置場所
平成 17		電界放射走査電子顕微鏡 CL 装置*	54,600	神楽坂
		飛行時間型質量分析装置*	44,982	神楽坂
		高精度 3D 運動計測システム****	7,350	神楽坂
		光電子分光装置*	30,920	神楽坂
		1 分子蛍光分析システム*	24,990	神楽坂
		顕微レーザーラマン分光光度計*	19,992	神楽坂
		ICP-MS 用レーザーアブレーション装置*	18,900	神楽坂
		光電変換材料結晶成長装置*	10,000	野田
		高感度 CCD 分光装置*	7,570	神楽坂
		極短パルス光発生装置*	5,103	野田
		ホリスティックシミュレーター**	19,341	神楽坂
		可視化サーバ**	11,970	野田
		実験廃棄物総合分析システム	124,950	神楽坂
		核磁気共鳴装置 AV400M-UltraShieldPlus	55,077	神楽坂
	電子プローブマイクロアナライザー	39,900	野田	
	生体高分子相互作用 1 分子解析装置	33,547	野田	
	(16 件) 合計	509,192		
18		ディーゼル排ガス曝露装置**	39,994	野田
		ポリスケール物質構造解析システム**	21,000	野田
		ポリスケール元素・形状解析システム**	19,950	野田
		NIR マイクロバイオイメージングシステム**	15,750	野田
		高速並列計算可視化システム**	9,988	野田
		セミクロ領域形状可視化システム**	7,136	野田
		超高感度汎用体画像化システム	17,566	野田
		電子顕微鏡用試料前処理システム	26,775	野田
		3次元可視化を実現する高速度カメラシステム	22,155	野田
		微弱分子間力複合体高感度検出構造解析システム	30,000	野田
	(10 件) 合計	210,314		
19		真空蒸着装置*	13,996	神楽坂
		円二色性分散計*	16,803	神楽坂
		CCD 搭載高輝度単結晶 X 線構造解析装置*	40,793	神楽坂
		計測インサート分離式希釈冷凍機システム	29,999	神楽坂
		ゲノム多型・遺伝子発現解析システム	30,912	野田
		フーリエ変換高分解能精密質量分析計	85,050	野田
		高剛性型変位制御載荷装置	40,908	神楽坂
	(7 件) 合計	258,461		

注： **印 ハイテク・リサーチ・センター整備事業による
 ***印 学術フロンティア研究推進事業による
 ****印 オープン・リサーチ・センター整備事業による
 *****印 産学連携研究推進事業による

参考資料V-1 山口東京理科大学生涯学習センター事業実績 [平成19年度]

事業名		事業内容等
I 特別講演会	教育講演会	テーマ：どうなる日本の政治 実施日：平成19年10月6日（土） 会場：本学 講師：橋本五郎（読売新聞特別編集委員） 受講者：一般、高校生
		テーマ：身近なものを使った授業展開 実施日：平成19年8月9日（木） 会場：本学 講師：柄山正樹（東京女学館中学・高校教諭）戸嶋直樹教授、北條信教授 受講者：山口県内中学校・高校教員
II 学校教育支援プログラム	1. 理科教員のためのリカレントセミナー	テーマ：先端技術との Contact in TUSY 実施日：平成19年8月6日（月）～8日（水） 会場：本学、山口日本電気㈱、西部石油㈱ 講師：本学教員7名 受講者：福岡県立城南高等学校2年生
		テーマ：先端技術との Contact in TUSY 実施日：平成19年8月9日（木）～11日（土） 会場：本学、山口日本電気㈱、西部石油㈱ 講師：本学教員7名 受講者：山口県立山口高等学校2年生
	2. 高校生のための先端技術体験学習【SPP事業】	テーマ：先端技術との Contact in TUSY 実施日：平成19年4月～平成20年3月 会場：本学 講師：本学教員6名 受講者：県内高等学校（8校）
		テーマ：遺伝子から本当の自分を見つめよう 実施日：平成19年7月22日（日） 会場：本学 講師：早川あけみ准教授 受講者：近郊小・中学生
	3. 高校生のための先端技術体験学習【SPP事業以外】	テーマ：ほんものの体験科学講座 実施日：平成19年12月11日（火）・13日（木）・14日（金） 17日（月）・平成20年2月11日（火） 会場：本学または小中学校 講師：加納誠教授、境康喜講師 受講者：山陽小野田市内小中学生
		テーマ：小学生英語指導者養成講座 実施日：全6回[平成19年5月19日・7月7日・9月1日・11月10日（土）・平成20年1月27日（日）・3月1日（土）] 会場：本学 講師：池田容子講師・鳥幸子嘱託教授（非常勤） 受講者：小中高現職教員、英語に興味のある方
4. ジュニア科学教室		
5. 小中学生のためのおもしろ科学教室		
6. 小学生英語指導者養成講座		

参考資料V-2 山口東京理科大学生涯学習センター事業計画（平成20年度）

（その1）

事業名		事業内容等
I 特別講演会	教育・文化講演会	テーマ：教育又は文化に関するテーマを予定 実施予定日：平成20年11月頃 会場：本学 講師：井口洋夫(宇宙航空研究開発機構顧問、元本学客員教授) 受講者：企業関係者、一般の方
	日本化学会中四国支部主催化学展への出展 参	テーマ：学科から出展を予定 実施予定日：平成20年8月22日（金）～24日（日） 会場：山陽小野田市市内商業施設 講師：科学に関する展示または演示実験 受講者：一般
III 学校教育支援プログラム	1. 理数系教員のためのリカレントセミナー	テーマ：生物または数学（情報）に関するテーマを予定 実施予定日：平成20年8月 会場：本学 講師：本学教員および外部講師 受講者：山口県内中学校・高校教員
	2. 高校生のための先端技術体験学習 【SPP事業】	テーマ：先端技術とのContact in TUSY 実施予定日：平成20年8月4日（月）～6日（水） 会場：本学、山口日本電気㈱、西部石油㈱ 講師：本学教員7名 受講者：福岡県立城南高等学校2年生
		テーマ：先端技術とのContact in TUSY 実施予定日：平成20年8月7日（木）～9日（土） 会場：本学、山口日本電気㈱、西部石油㈱ 講師：本学教員7名 受講者：山口県立山口高等学校2年生
	3. 高校生のための先端技術体験学習 【SPP事業以外】	テーマ：先端技術とのContact in TUSY 実施予定日：平成20年4月～ 会場：本学 受講者：県内高等学校（約10校）
	4. ジュニア科学教室	テーマ：科学実験 実施予定日：平成20年7月27日（日） 会場：本学 講師：稲垣詠一教授 受講者：近郊小・中学生
	5. 南極教室	テーマ：南極昭和基地からの中継授業 実施予定日：平成20年6月27日（金） 会場：山陽小野田市市内全小学校（12校） 講師：浅野比助教および外部講師 受講者：山陽小野田市小学校5、6年生（約1200名）
6. 小中学生のためのおもしろ科学教室	テーマ：ほんものの体験科学講座 実施予定日：平成20年4月～ 会場：本学または小中学校 講師：加納誠教授、稲垣詠一教授、境康喜講師 受講者：山陽小野田市市内小中学生	

参考資料V-2 山口東京理科大学生涯学習センター事業計画（平成20年度）

（その2）

事業名		事業内容等
Ⅲ 学校教育支援プログラム	7. 小学生英語指導者養成講座	テーマ：小学生英語指導者養成講座 実施日：全6回〔平成20年5月24日・7月12日・9月13日・11月8日・12月13日・平成21年2月14日（土）〕 会場：本学 講師：池田容子講師・島幸子講師（非常勤） 受講者：小中高現職教員、英語に興味のある方
Ⅳ 市民教養講座	1. パソコン関係講座	テーマ：市民のためのパソコン入門教室（基本編） 実施予定日：全2回〔平成20年5月31日・6月7日（土）〕 会場：本学 講師：本学教員4名 受講者：一般
		テーマ：市民のためのパソコン入門教室（応用編） 実施予定日：全3回〔平成20年9月27日・11月1日・11月29日（土）〕 会場：本学 講師：本学教員4名 受講者：一般
	2. アンチエイジング健康科学講座	テーマ：病気にならないための健康科学講座 実施予定日：全2回〔平成20年6月21日・28日（土）〕 会場：本学 講師：早川あけみ准教授 受講者：一般

参考資料VI-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績 [平成19年度]

(その1)

科目	開催日程	テーマ	場所	講師	対象	依頼元	人数
茅野高校 (高大連携)	4/25/07	大学見学及び学食体験	本学	事務	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	4/25/07	大学見学及び学食体験 (OBとの意見交換会)	本学	藤瀬恭子	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	5/9/07	講義Ⅱ「今すぐ欲しいものがある。さあどうする?」	本学	林幸治	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	5/9/07	講義Ⅱ「自分って何?」	本学	飯田洋市	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	6/13/07	講義Ⅱ「お店の育て方～コンビニ経営～」	本学	井上善博	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	6/13/07	講義Ⅰ「チャンスのつかみ方・いかし方」	本学	林幸治	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	9/12/07	講義Ⅰ「ロボット工学」	本学	細貝英実	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	9/12/07	「配管検査ロボット」	本学	市川純章	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	9/12/07	講義Ⅱ「衝撃工学 (ドカン! さあどうなる?)」	本学	板橋正章	2年生	茅野高校	29
茅野高校 (高大連携)	10/17/07		本学	江藤 宮肇、清水		茅野高校	
茅野高校 (高大連携)	10/17/07		本学	江藤 宮肇、清水		茅野高校	
茅野高校 (高大連携)	11/14/07		本学	飯田洋市		茅野高校	
茅野高校 (高大連携)	11/14/07		本学	平尾敏		茅野高校	
岡谷工業高校 (高大連携)	10/3/07	2年生キャンパス体験	本学	平田幸広		岡谷工業高校	
岡谷工業高校 (高大連携)	10/3/07	2年生キャンパス体験	本学	石井隆生		岡谷工業高校	
岡谷工業高校 (高大連携)	10/3/07	2年生キャンパス体験	本学	成松恭平		岡谷工業高校	
岡谷工業高校 (高大連携)	10/3/07	2年生キャンパス体験	本学	星野祐		岡谷工業高校	
岡谷工業高校 (高大連携)	11/6/07	1年生キャンパス体験	本学	石森秀明		岡谷工業高校	42
岡谷工業高校 (高大連携)	11/6/07	1年生キャンパス体験	本学	石井隆生		岡谷工業高校	42
岡谷工業高校 (高大連携)	11/6/07	1年生キャンパス体験	本学	平田幸広		岡谷工業高校	42
出前授業	6/19/07	企業経営と技術革新	ホテル紅や	古嶺信生		LVC(株)	
出前授業	6/21/07	私たちのくらしとエネルギー	茅野市立永明小学校	広瀬啓雄	6年3組	茅野市立永明小学校	31
出前授業	6/22/07	私たちのくらしとエネルギー	本学	平田陽一	3年生	茅野市立北部中学校	110
出前授業	7/19/07		茅野市立永明小学校	広瀬啓雄	6年3組	茅野市立永明小学校	31
出前授業	7/20/07		岡谷市湊公民館	須川修身		岡谷市湊公民館	
出前授業	7/21/07	私たちのくらしとエネルギー	松本大学	平田陽一	参加高校生	国際ロータリー第2600地区 (県下10高校で結成)	240
出前授業	7/26/07	ビジネスゲームで学ぶ経営学	野沢南高校	井上善博	1~3年生	野沢南高校	30

参考資料VI-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績 [平成19年度]

(その2)

科目	開催日程	テーマ	場所	講師	対象	依頼元	人数
出前授業	7/26/07	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	野沢南高校	市川純章	1~3年生	野沢南高校	30
出前授業	8/31/07	ナノテク/ロジエの世界	長野東高校	西山勝廣	1年生	長野東高校	40
出前授業	8/31/07	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	長野東高校	市川純章	1年生	長野東高校	40
出前授業	9/5/07	小型ロボットの動作実演	胸ヶ根工業高校	市川純章	2年生	胸ヶ根工業高校	32
出前授業	9/10/07	心理的ストレスの仕組みと対応	下諏訪商工会議所	田中佑子	社会人	関東信越税理士会諏訪支部	70
出前授業	9/11/07	ほげない脳をつくるために	茅野市運動公園体育館	篠原壽紀	社会人	諏訪地区保健師等連携協議会	100
出前授業	9/25/07		ホテル岡谷	田中佑子	社会人	岡谷ロータリークラブ	40
出前授業	9/28/07		茅野市立永明小学校	奈良弘範	6年3組	茅野市立永明小学校	31
出前授業	10/3/07	楽しい科学工作	茅野市永沢小学校	木村正弘	社会人、小学生	茅野市永沢小学校 PTA	200
出前授業	10/5/07		岡谷市湊公民館	飯田洋市		岡谷市湊公民館	
出前授業	10/18/07		茅野市立永明小学校	木村正弘	6年3組	茅野市立永明小学校	31
出前授業	10/23/07	機械師入門	飯田高校	星野祐	1年生	飯田高校	40
出前授業	10/25/07	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	茅野市北部中学校	市川純章	中学生	茅野市北部中学校	115
出前授業	10/25/07	株って何？	茅野市北部中学校	林幸治	中学生	茅野市北部中学校	115
出前授業	10/25/07	水から考える	茅野市北部中学校	奈良弘範	中学生	茅野市北部中学校	115
出前授業	10/26/07		岡谷市役所	藤瀬恭子	社会人	岡谷市役所企画課	100
出前授業	10/29/07	私たちのくらしとエネルギー	上伊那農業高校	平田陽一	2年生理系	上伊那農業高校	21
出前授業	11/1/07	ナノテク/ロジエの世界	下諏訪向陽高校	西山勝廣	高校1年生	下諏訪向陽高校	20
出前授業	11/7/07		諏訪市立西賀小学校	社会人	社会人	諏訪市内小中学校理科教科会	17
出前授業	11/9/07		茅野市立永明小学校	志澤高明	6年3組	茅野市立永明小学校	31
出前授業	11/9/07	私たちのくらしとエネルギー	山梨県立身延高校	平田陽一	1、2年生理系	山梨県立身延高校	15
出前授業	11/9/07		長野東高校	江原暉将	2年生	長野東高校	40
出前授業	11/20/07	心理的ストレスの仕組みと対応	原村中央公民館	田中佑子	社会人	原村中央公民館教育課	35
出前授業	11/23/07	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	辰野高校	市川純章	高校生、社会人	辰野高校	30
出前授業	12/7/07	ソフトキャンディボールを弾ませて	茅野市立永明小学校	平田陽一	6年3組	茅野市立永明小学校	31
出前授業	12/13/07		岡谷南高校	飯田洋市	高校生	岡谷南高校	30
出前授業	12/17/07	コンビニは何故はやる	上伊那農業高校	大平修司	高校3年生	上伊那農業高校	40

参考資料VI-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績 [平成19年度]

(その3)

科目	開催日程	テーマ	場所	講師	対象	依頼元	人数
出前授業	1/31/08	身近にあるモーターの種類と原理	上田千曲高校	大島政英	高校生	上田千曲高校	27
出前授業	2/14/08	レッツ チャレンジ!男も女も輝いて	立科町中央公民館	藤瀬恭子	一般	立科町中央公民館	50
出前授業	2/16/08	映画で学ぶ男女共同参画	松本市女性センター	藤瀬恭子	社会人	松本市役所人権・男女共生課	30
出前授業	2/17/08	ムービー&トーク DVD「スーパード」	長野県男女共同参画センター ・あいとびあ(岡谷市)	藤瀬恭子	社会人	長野県共同参画をめぐす会	20
出前授業	2/27/08	統計って何だ	ホテル虹や	奥原正夫	一般(会員)	LCV ㈱	25
出前授業	2/27/08	コンビニは何故はやる	須坂東高校	大平修司	高校生	須坂東高校	30
出前授業	2/27/08	ナノテクノロジーの世界	須坂東高校	西山勝廣	高校生	須坂東高校	30
出前授業	2/27/08	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	須坂東高校	市川純章	高校生	須坂東高校	30
出前授業	2/28/08	「株」って何?	飯山北高校	林幸治	高校生	飯山北高校	20
出前授業	3/5/08	紙飛行機を上手に飛ばそう	下諏訪総合文化センター	松岡隆志	一般	下諏訪町公民館	60
出前授業	3/12/08	小型人型ロボットの動作機構の解説	武蔵工業大学第二高校	市川純章	高校生	武蔵工業大学第二高校	20
出前授業	3/12/08	食生活と食ビジネスを考える	武蔵工業大学第二高校	山藤光剛	高校生	武蔵工業大学第二高校	20
出前授業	3/19/08	エレクトロニクス基礎講座	新潟県立上越総合技術高校	宮澤悟	高校生	新潟県立上越総合技術高校	35
諏訪清陵高校 (SSH)	12/22/07	フラクタルの数値	本学	相原伸一	高校生	諏訪清陵高校	25
タイアップ講座	11/30/07	質問紙の設計法	小諸商業高校	奥原正夫	高校生	小諸商業高校	0
タイアップ講座	12/7/07	アンケートの分析方法	小諸商業高校	奥原正夫	高校生	小諸商業高校	0
タイアップ講座	2/15/08	情報処理授業	塩尻志学館高校	奥原正夫	高校生	塩尻志学館高校	15
タイアップ講座	2/19/08	情報処理授業	塩尻志学館高校	奥原正夫	高校生	塩尻志学館高校	15
タイアップ講座	2/22/08	情報処理授業	塩尻志学館高校	飯田洋市	高校生	塩尻志学館高校	15
タイアップ講座	2/25/08	情報A	塩尻志学館高校	広瀬啓雄	高校生	塩尻志学館高校	
タイアップ講座	2/25/08	情報A	塩尻志学館高校	石森秀明	高校生	塩尻志学館高校	
タイアップ講座	2/26/08	情報処理授業	塩尻志学館高校	広瀬啓雄	高校生	塩尻志学館高校	15
理科エキスパート活用推進事業	2/20/08	ふりこの動き	安曇野市立豊科東小学校	山田昭夫	小学生5年生	安曇野市立豊科東小学校	52
理科エキスパート活用推進事業	2/27/08	ふりこの動き	安曇野市立豊科東小学校	山田昭夫	小学生5年生	安曇野市立豊科東小学校	52
理科エキスパート活用推進事業	3/5/08	ふりこの動き	安曇野市立豊科東小学校	山田昭夫	小学生5年生	安曇野市立豊科東小学校	52

参考資料Ⅵ-2 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム計画（平成20年度）

名 称		事業内容等	
市民 教養 支援	「サイエンス夢合宿」 主催：本学 共催：財団法人長野県科学振興会 後援：長野県教育委員会・	日 時：平成20年7月26日～27日 対 象：長野県内の小学校5・6年生の親子 場 所：本学 人 数：小学生と保護者2名1組で40組	内 容：科学全般に興味を持ってもらう身近なテーマについて 実験室等を使用しての体験学習。 本学セミナーハウスに親子で宿泊して実施。
	「出前授業」	講 師：本学教員 10名	※申し込みがあった時点で実施

参考資料Ⅶ-1 諏訪東京理科大学の地域との交流状況 [平成 20 年度]

区 分	名 称	内 容
地域連携	「上川アダプトプログラム」	日 時：平成 20 年 4 月 13 日（日） 内 容：茅野市内の河川環境をはじめ、市内全域の環境を守ろうとする市民意識の高揚を図ることを目的に、川岸の決められた範囲を学生・教職員ボランティアでゴミ拾いを実施。
	「茅野市こどもまつり」	日 時：平成 20 年 6 月 1 日（日） 内 容：本学ホビー部が、簡単な工作や、科学実験をブースで参加
	「茅野どんぼん」	日 時：平成 20 年 8 月 2 日（土） 内 容：茅野市の夏祭り「茅野どんぼん」に理大連を結成して踊りに参加
	「諏訪湖クリーンフェスティバル」	日 時：平成 20 年 9 月 7 日（日） 内 容：諏訪湖浄化に関するイベントで本学から環境について研究している団体が参加。

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

(その1)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
昭和 59 年 (1984 年)	創刊号	生涯教育と大学
	8月号	パソコン時代
	9月号	コンピュータで生体を探る
	10月号	リモートセンシング
	11月号	黒い資源
	12月号	火と煙
昭和 60 年 (1985 年)	1月号	現代科学技術の誕生
	2月号	日本列島冬の気候
	3月号	生活空間の科学
	4月号	科学と人生
	5月号	生産の側から見た食糧問題
	6月号	かび
	7月号	健康と文化環境
	8月号	数学—最近の応用から
	9月号	液晶
	10月号	技術的可能性を追求する CAD
	11月号	ミクロの世界を見る
	12月号	さび
昭和 61 年 (1986 年)	1月号	暦—その起源と東西交流
	2月号	21世紀を目指す数学教育
	3月号	VLSIを理解する
	4月号	科学・技術の今日と明日
	5月号	知能ロボットへの道
	6月号	時と時間
	7月号	地図の世界
	8月号	水と生活
	9月号	鉄の科学
	10月号	地底からの情報
	11月号	眼—その細胞と分子
	12月号	病気の診断
昭和 62 年 (1987 年)	1月号	光と生活
	2月号	経営の新しいトピックス
	3月号	ホルモンの営み
	4月号	先端技術を支える基礎工学
	5月号	和算
	6月号	森林の科学
	7月号	建築構造の世界
	8月号	航空機の安全性
	9月号	環境創造のための土木技術
	10月号	くすり
	11月号	超新星を捕えた東京理科大学山口短期大学
	12月号	醸造—酒

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

(その2)

発行年		発行月	SUT Bulletin 特集題目
昭和63年 (1988年)	1月号	1月号	画像
	2月号	2月号	脳—その生理と薬理
	3月号	3月号	あいまいさの科学—FUZZY is fuzzy
	4月号	4月号	国際化時代の理工系大学教育
	5月号	5月号	スーパーコンピュータ
	6月号	6月号	乗り物
	7月号	7月号	マンガン団塊—新しい金属鉱物資源
	8月号	8月号	現代数学の世界
	9月号	9月号	老化と寿命の科学
	10月号	10月号	レーザーで何ができるか
	11月号	11月号	色彩心理と生活
	12月号	12月号	ものの中をみる
平成元年 (1989年)	1月号	1月号	超高層の今
	2月号	2月号	くすりの副作用
	3月号	3月号	品質管理の現状と展望
	4月号	4月号	理科教育の今日
	5月号	5月号	高温超伝導体東京理科大学生命科学研究所
	6月号	6月号	プラズマの科学と先端材料
	7月号	7月号	都市の地下にもぐる
	8月号	8月号	高温超伝導体 (2)応用と作り方
	9月号	9月号	きのこ
	10月号	10月号	数学・数理・情報科学
	11月号	11月号	自動車の科学
	12月号	12月号	高機能性分離膜
平成2年 (1990年)	1月号	1月号	巻頭対談—わが国の理工学高等教育
	2月号	2月号	東京物理学講習所“坊っちゃん”たちの青春
	3月号	3月号	就職幹事座談会—よく学び、よく遊び、よく働こう
	4月号	4月号	新春座談会—大学生活を振り返る
	5月号	5月号	企業が求める人間像
	6月号	6月号	東京理科大学における理窓会の役割
	7月号	7月号	大学院幹事座談会—大学院の意義と現状
	8月号	8月号	「物理学のすすめ」座談会
	9月号	9月号	東京理科大学諏訪短期大学の開設にあたって
	10月号	10月号	工学部の歩み—歴代工学部長による座談会
	11月号	11月号	教職への案内と今後の方針
	12月号	12月号	教職へのすすめ—理科大卒の高校校長による座談会
平成3年 (1991年)	1月号	1月号	新春対談—理事長と新学長の対談
	2月号	2月号	これからのコンピュータ教育その1
	3月号	3月号	これからのコンピュータ教育その2
	4月号	4月号	「化学文献所在目録」刊行の思い出
	5月号	5月号	企業内教育について
	6月号	6月号	理工系大学における英語教育
	7月号	7月号	座談会—長万部の思い出特集—大気エアロゾル
	8月号	8月号	女性先輩大いに語る
	9月号	9月号	東京物理学学校創立110周年記念 (1)
	10月号	10月号	東京物理学学校創立110周年記念 (2)
	11月号	11月号	博士になるまで
	12月号	12月号	卒業研究を語る

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

(その3)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
平成4年 (1992年)	1月号	座談会—国際化に向けて
	2月号	環境とエネルギー—4年生の就職観について
	3月号	座談会—中堅企業の魅力を語る
	4月号	座談会—修士学生の生活と意見
	5月号	座談会—発見への旅理工学部の25年
	6月号	座談会—帰国子女から見た理科大学の生活
	7月号	座談会—地学のすすめ
	8月号	座談会—国家公務員としての活躍を語る
	9月号	特集—耐震
	10月号	講演記録—国際的ルールを守り「日本型経営」を刷新する
	11月号	特集—激動の現代
	12月号	特集—激動の現代(2)
平成5年 (1993年)	1月号	地球環境Ⅰ
	2月号	地球環境Ⅱ
	3月号	一人—説高温超伝導
	4月号	セラミックス
	5月号	高電圧の世界
	6月号	生体と情報処理
	7月号	超伝導
	8月号	橋梁
	9月号	ウイルス
	10月号	人工結晶
	11月号	計算力学
	12月号	天文学を支える最新の観測技術
平成6年 (1994年)	1月号	科学と社会・歴史
	2月号	極限の化学
	3月号	建築設計とコンピュータその最前線
	4月号	数学、ここが好きここが嫌い
	5月号	エネルギーの現状と施設
	6月号	雷の制御と安全対策
	7月号	物理学校雑誌からSUTへ
	8月号	アレルギー
	9月号	ことばの科学
	10月号	ロボット
	11月号	センサ
	12月号	ゆらぎと快適感
平成7年 (1995年)	1月号	海洋環境
	2月号	界面を探る
	3月号	都市景観計画
	4月号	真空は今!
	5月号	分子で探る生物の進化
	6月号	日本型経営
	7月号	組み合わせ論の世界
	8月号	光通信
	9月号	軽く、小さく、強い電池
	10月号	無重力の世界
	11月号	マルチメディア
	12月号	楽しい科学実験

参考資料区－1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

(その4)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
平成 8 年 (1996 年)	1 月号	阪神・淡路大震災から 1 年経って
	2 月号	空気清浄技術
	3 月号	国際単位と基礎標準
	4 月号	話題の医科学
	5 月号	超々高層建築への挑戦
	6 月号	暮らしの中のマイクロカプセル
	7 月号	エコマテリアル
	8 月号	南極
	9 月号	無線通信システム
	10 月号	スポーツと科学
	11 月号	身近なところで役立っている放射線
	12 月号	最近の発明にみる新しい技術
平成 9 年 (1997 年)	1 月号	素粒子と宇宙
	2 月号	実験心理学
	3 月号	小さな機械の世界
	4 月号	過去を探る科学
	5 月号	宇宙と生命
	6 月号	電子顕微鏡はここまで進歩した
	7 月号	原子をどこまで見分けられるか
	8 月号	エネルギーと環境
	9 月号	遺伝子利用で今、何ができるか
	10 月号	関数論の美しさーその玲瓏な境地
	11 月号	建築都市空間の復元・保存・再生
	12 月号	フラーレンとナノチューブの科学
平成 10 年 (1998 年)	1 月号	数学教育と論理的思考力
	2 月号	医用材料最近の進歩 (1)
	3 月号	医用材料最近の進歩 (2)
	4 月号	マルチメディアとセキュリティ
	5 月号	液晶の応用ーディスプレイの現状
	6 月号	これからの薬剤師ー医療の現場でー
	7 月号	これからの住まいを考えるための 3 つの観点
	8 月号	ゴミ、処理と行方
	9 月号	インテリジェント材料とその化学
	10 月号	ミクロな粉の科学
	11 月号	細菌処理技術の進歩
	12 月号	焼結の科学
平成 11 年 (1999 年)	1 月号	Satellite
	2 月号	待ち行列
	3 月号	光関連新素材としてのニューガラス
	4 月号	21 世紀に活躍する新しい動物たち
	5 月号	静電気とハイテクノロジー
	6 月号	ドーム建築の今日
	7 月号	印刷技術
	8 月号	ナノサイエンス・ナノテクノロジーと光化学
	9 月号	乗り物に見る科学
	10 月号	変わる数学教育
	11 月号	現在の宇宙観
	12 月号	プラズマの応用技術

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

(その5)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
平成 12 年 (2000 年)	1 月号	古文化財の分析
	2 月号	現代社会が招き入れる“エマージングウイルス”
	3 月号	金融工学のフロンティア
	4 月号	福祉科学・人間工学の創造を
	5 月号	医療とセンサ
	6 月号	エレベータとエスカレータ
	7 月号	バイオメトリクス
	8 月号	太陽光発電技術
	9 月号	接着剤
	10 月号	マルチ機能材料としてのシリコン
	11 月号	超音波
	12 月号	泡
理大 科学フォーラム		
発行年	発行月	ビジョン
平成 13 年 (2001 年)	1 月号	21 世紀と科学技術 生命科学の課題
	2 月号	原文雄工学部長に聞く インターネットビジネスと Yahoo!Japan
	3 月号	野田地区を生命科学のパークに JABEE と大学における技術者教育の動向
	4 月号	森戸祐幸氏が母校に多額の寄付 科学者の卵たちへのメッセージ
	5 月号	リサーチパークへの夢 初等教育での数学教育のあり方
	6 月号	海と環境 建造物の世界遺産・アメリカとカナダ
	7 月号	産業界から大学への提言 産業官連携のあり方
	8 月号	創立 120 周年に想う 我々の生活に数学は必要なのだろうか
	9 月号	東京理科大学 TLO への取り組み 科学技術の成果と特許情報
	10 月号	生き残り策、企業も大学も同じ 注目される技術士制度
	11 月号	免疫学の最前線 チベット建築への旅
	12 月号	情報化時代の大学図書館 極地の環境

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

(その6)

理大科学フォーラム		
発行年	発行月	特殊題目
平成 14 年 (2002 年)	1 月号	本学の将来構想 —特にハード面において—
	2 月号	誌上対談 / 小浦延幸理事長に聞く 新しい器にどのような酒を注ぐか
	3 月号	卒業するにあたって 正しい地震情報の見分け方
	4 月号	耐性菌はどうして生まれたか 太陽ニュートリノ問題とニュートリノ振動
	5 月号	人間の寿命と日本列島 高速・高周波デバイス
	6 月号	発酵と人類の知恵 震災への備え
	7 月号	未踏の研究分野への挑戦 科学者の社会的責任
	8 月号	数学教育と人づくり マイクロマシンとナノシステム
	9 月号	Excel による科学技術計算入門 数学教育と脳機能
	10 月号	薬学の今後 製薬企業におけるゲノム臨床開発における試み
	11 月号	人間関係とカウンセリング 問題行動の解決のために
	12 月号	ニュートリノ天文学の夜明け ISO のマネジメントシステム
平成 15 年 (2003 年)	1 月号	人体実験の 731 部隊から見た科学 (者) のあり方 今年度のノーベル化学賞、ノーベル医学生理学賞
	2 月号	大学における知的財産 加速器科学の発展
	3 月号	卒業するにあたって 意思決定を数理的にサポートする数理計画法
	4 月号	理事長就任にあたって 創薬研究の未来
	5 月号	ルイ・バスツール大学との学術交流 ナノ・カーボンの科学と技術
	6 月号	山口東京理科大学の夢 ロストック大学訪問記
	7 月号	学術交流提携校 ヴィスマール大学訪問記 がんの分子標的治療
	8 月号	枠組みにとらわれず新たな挑戦を MRSA と VRSA, その化学療法剤とゲノムの話
	9 月号	環境とバイオテクノロジー 神経の再生
	10 月号	脳科学が予見する未来社会の姿 新幹線と地震
	11 月号	私が学んだ学者への道 個性化・多様化の時代に生きる
	12 月号	DDS 研究センターの目指すもの ポストゲノムとタンパク質工学

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

(その7)

理大科学フォーラム		
発行年	発行月	特集題目
平成 16 年 (2004 年)	1 月号	理事長に聞く 新年の抱負と夢 これからの理科教育
	2 月号	ゼロからの出発 「利雪研究」と「克雪研究」
	3 月号	卒業おめでとう 十勝沖地震と地盤の液状化
	4 月号	入学おめでとう バイオ医薬品
	5 月号	座談会 教育に活かそう福祉科学・人工工学 おもしろ健康教材
	6 月号	共同研究に想う 微分解析機
	7 月号	創刊 20 周年 無機発光材料の新しい展開
	8 月号	中国における最近の産官学連携の状況 松本サリン事件における原因物質の検索とその分解物の挙動
	9 月号	エジソンになりそこねた男 ストレスと疾患
	10 月号	お肌の健康と化粧・美容の科学 照明の新時代
	11 月号	第 42 回学位取得者記念祝賀会における講演特集 記念講演：グローカリゼーション
	12 月号	特集／オープンキャンパスで学ぶ PET を利用したがんの診断
平成 17 年 (2005 年)	1 月号	対談：日本の教育の未来を考える／講演：やればできる
	2 月号	対談：日本の教育の未来を考える（2）
	3 月号	対談：日本の教育の未来を考える（3）
	4 月号	入学おめでとう／維持同盟の礎
	5 月号	特集／東京理科大学の教育力：長万部キャンパス
	6 月号	神楽坂地区再構築／小倉金之助の数学教育論を授業実施して
	7 月号	125 周年記念の開始に寄せて／夏休みの読書
	8 月号	特集／東京理科大学発ベンチャー企業
	9 月号	特集／セミナーハウス特別講義「ストレスと病気」 —酸化ストレスの疾病への関与とその防御を探る—
	10 月号	特集／第 43 回学位取得者記念祝賀会・記念講演
	11 月号	特集／'05 野田オープンキャンパス
	12 月号	特集／'05 神楽坂・久喜・山口・諏訪オープンキャンパス
平成 18 年 (2006 年)	1 月号	特集／現代化学の最先端
	2 月号	特集／躍動する新生薬学部
	3 月号	特集／卒業するにあたって
	4 月号	特集／新入生へのメッセージ 科学者の卵たちへ
	5 月号	特集／創立 125 周年記念（Ⅰ）
	6 月号	特集／創立 125 周年記念（Ⅱ）記念イベント
	7 月号	特集／台風（ハリケーン）
	8 月号	特集／セミナーハウス特別講義ナノテクノロジーの現状と将来
	9 月号	特集／東京理科大学創立 125 周年記念式典・祝賀・サイエンスフェア・イベント
	10 月号	特集／第 44 回学位取得者記念祝賀会・記念講演
	11 月号	特集／'06 神楽坂・九段・久喜・山口オープンキャンパス
	12 月号	特集／'06 野田・諏訪オープンキャンパス

参考資料区－1 SUT Bulletin・理大科学フォーラムの特集題目

(その8)

理大科学フォーラム		
発行年	発行月	特集題目
平成 19 年 (2007 年)	1 月号	特集／特定研究助成金
	2 月号	特集／東京理科大学総合研究機構
	3 月号	特集／社会に旅立つ理大生のことば
	4 月号	特集／入学おめでとう・科学者の卵たちへ
	5 月号	特集／経営学部 経営とサイエンス
	6 月号	科学教養講座／学生生活ア・ラ・カルト
	7 月号	特別講演／準結晶とその科学
	8 月号	特集／現代 GPin 長万部キャンパス
	9 月号	特集／使いやすいインターフェースの設計
	10 月号	特集／ウーマンサイエンティスト体験講座
	11 月号	特集／サイエンスフェア
	12 月号	特集／顔の科学
平成 20 年 (2008 年)	1 月号	対談／科学技術立国と山口東京理科大学の使命を語る
	2 月号	特集／関 孝和の世界
	3 月号	特集／スーパーサイエンティスト育成プログラム
	4 月号	特集／化粧品テクノロジー
	5 月号	特集／サイエンス夢工房 (神楽坂)